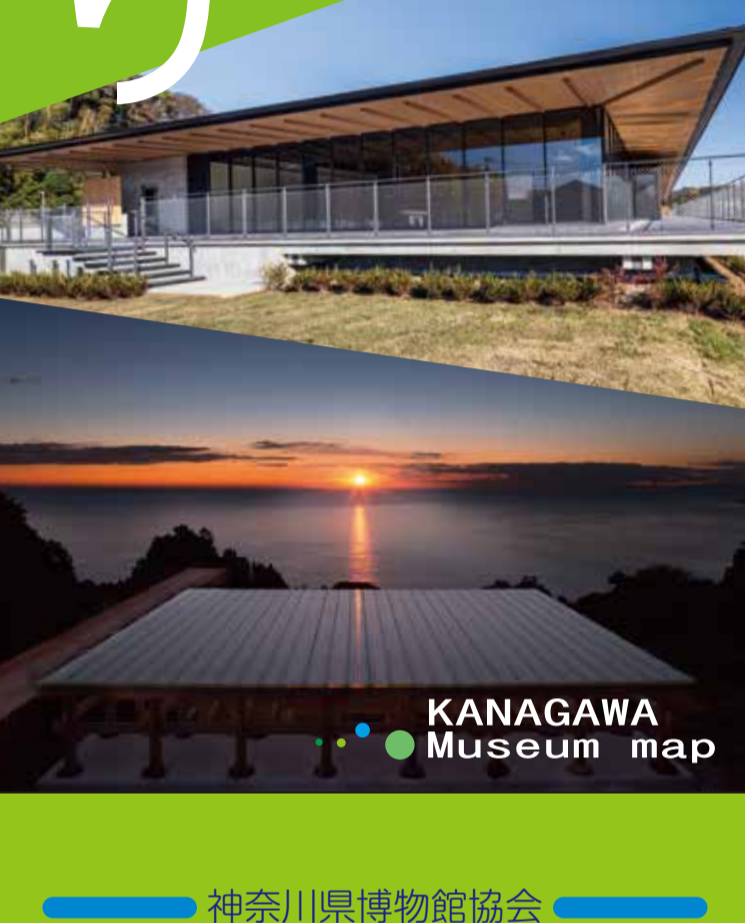




# かながわミュージアムマップ 2023-2024 湘南・西湘地域特集



## 神奈川県博物館協会

神奈川県内で活動する博物館が、相互の連絡をはかり、博物館活動の振興に努め、また学術文化の進展に寄与することを目的として設立しました。現在は歴史館、美術館、科学館、水族館、動物園、植物園など97館園の加盟で活動しています。

### 活動の主な内容

1. 博物館相互の連絡と連携、情報交換
2. 博物館事業に関する調査研究
3. 研究会、研修会、映画会等の開催
4. 機関誌の発行
5. 共同事業の企画、促進

2023 発行の「ぐるりかながわミュージアムマップ」では湘南・西湘地域の特集記事を掲載しております。このマップを手にとってお出かけ下さい。



表紙の写真は、上：箱根・芦ノ湖 成川美術館  
中：茅ヶ崎博物館 (©川澄・小林研二写真事務所)  
下：冬至光運洋隧道(とうじょう ようはいすいどう)と光学硝子舞台  
(小田原文化財団 江之浦別荘所)

発行：神奈川県博物館協会  
〒231-0006  
横浜市中区南仲通 5-60 神奈川県歴史博物館内  
TEL:045-201-0926 FAX:045-201-7364  
E-mail: kanagawa-kenpakukyo@dolphin.ocn.ne.jp

2023年11月20日発行  
印刷：(株) TAKT・JAPAN

## 湘南

**56 はだの歴史博物館**  
緑豊かな古墳公園内の博物館

当館は、枚士手古墳公園の中にあります。この古墳群は35基から構成される古墳時代後期の群集墳として、県下でも有効の規模を誇るものであるため、古墳公園として整備されました。公園内には古墳群の中で最大規模の1号墳が復元されています。開館時から出土遺物等を公開する展示館でしたが、30周年を迎えた令和2年11月に栗野の歴史と文化をテーマとする歴史博物館にリニューアルしました。古代から近代までの常設展示、複数の企画展や様々な講演会等に参加して栗野の歴史に触れてください。

**57 遊行寺宝物館**  
中近世仏教美術と時宗史を企画展と特別展で紹介

当館の収蔵品は、東海道の古刹として知られる遊行寺(時宗総本山清浄光寺)が正中2年(1325)開山より蔵に収められた絵画・彫刻・工芸・経典・典籍に中近世文書を含めた約2万件の什物によって構成されます。これらを維持管理し公開するため、昭和52年(1977)に遊行寺境内に開館しました。常設展示は無く、収蔵品を中心とした企画展とテーマに沿った品々を集めた特別展を年間5回開催しています。時宗美術とも称される品々と共に、古代から近現代までの幅広い史料を用いた企画展をお楽しみ下さい。

**58 松前記念館(東海大学歴史と未来の博物館)**  
教育研究の現場から世界の未来を考える

北に丹沢連峰、西に富士を望み、南に太平洋が広がる自然豊かな東海大の湘南キャンパス内にある博物館です。私学としての建学の理念を守り伝える常設展「学園の歴史」「情報通信の技術史」や大学の最新の教育研究の成果として企画展を開催しています(企画展「古代エジプト 受け継がれる祈りの心」は12月未まで開催)。四季折々に咲く草花の息吹や昆虫の息遣いなどを肌で感じながら建築家・山田守設計の有機的な形をしたユニークな校舎群(日本におけるモダン・ムーブメントの建築)もお楽しみください。

**59 藤沢市湘南台文化センターこども館**  
宇宙や未来への夢を広げるこども館

こども館には、宇宙劇場、展示ホール、ワークショップの三つがあります。展示ホールは、常設展示のほか季節の行事に合わせた展示やイベントを行い、ワークショップは、様々な工作などの体験を子どもたちに提供しています。宇宙劇場は、通常のプラネタリウムだけでなく、アロマと星空が楽しめる「のんびりアロマプラネタリウム」や音楽と星空が楽しめる「プラネタリウムコンサート」など大人の方にも楽しんでいただける「ナイトイベント」も開催しています。

**60 日本大学生物資源科学部博物館**  
骨の博物館：無料で学べる大学博物館

大学内にある博物館ですが、一般の方も見学できます。2019年に「骨の博物館」としてリニューアル。骨の多様性と進化をテーマに、骨に関連する資料や情報を収集・展示しています。1階展示室は「陸」「空」「海」にエリア分けされた野生動物、2階展示室は家畜と伴侶動物の骨格・複製標本を展示しています。他にも、透明標本、昆虫・植物標本、古農具、水生動物の生体展示等、さまざまな学部関連資料を展示しています。

**61-1 藤沢市生涯学習部郷土歴史課郷土文化推進担当**  
**61-2 藤沢市藤澤浮世絵館**  
浮世絵を通して知る歴史文化

浮世絵の魅力と地域の文化を伝える施設として、東海道藤沢宿や江の島の浮世絵をはじめとした郷土資料を展示しています。藤沢の地は、江戸時代に東海道五十三次の藤沢宿があり、時宗総本山清浄光寺(遊行寺)が立地し、信仰・行業の地である江の島参詣道の入り口として、多くの浮世絵に描かれた日本でも有効の場所です。藤澤浮世絵館では、すり体験のワークショップなど様々なイベントを行っています。入館は無料、浮世絵グッズも大人気です。ぜひお越しください。

**61-3 藤沢市ふじさわ宿交流館**  
藤沢宿で交わる人と歴史文化

藤沢宿は、江戸時代には旧東海道の宿場町として、大山詣りや江の島詣りをする人々の交通の要衝としてにぎわいました。ふじさわ宿交流館は、そんな藤沢の地で藤沢の歴史や文化に触れ、人々が交流できる施設です。東海道五十三次や藤沢宿などに関する資料の鑑賞、歴史散策やワークショップの体験場所として利用されているほか、寄席やお笑いライブなどたくさんのイベントを開催しています。ぜひお立ち寄りください。

**61-4 藤沢市民ギャラリー常設展示室**  
せまくてごめんね、藤沢の小さな展示室

藤沢市の歴史や文化に関する調査研究の成果や収集した資料について、歴史・民俗・浮世絵・古代文化などをさまざまなテーマで展示を行っています。40㎡ほどのコンパクトな展示室には、たくさんの魅力があふれています。藤沢駅から徒歩1分とアクセスがよく、図書館や市民ギャラリーとも隣接しています。ぜひ足を運んでください。

**62 新江ノ島水族館 なぎさの体験学習館**  
わくわくドキドキ冒険水族館

相模湾に面し、右手に富士山、左手に江の島を望む抜群のロケーションに位置。目の前の海を再現し、100種2万匹の魚が泳ぐ「相模湾大水槽」や、地元の特産品でもあるシラスの生体展示をご覧いただけます。2年連続で江の島の海から新種のクラゲを記載。2022年夏にはイルカショーをリニューアル。相模湾で産卵するアカウミガメの繁殖にも成功しました。湘南のなぎさとふれあいなぎさの大切さを「知る」「学ぶ」「考える」「行動する」ことを基本テーマとする体験学習プログラムも充実しています。

**63 江島神社奉安殿**  
弁財天信仰の発信

国指定重要文化財の八臂(はっぴ)弁財天像、藤沢市指定重要文化財の妙音(みょうおん)弁財天の二軀(く)ほか、御神宝を奉祀する奉安殿は、昭和45年(1970)に造営されてより多くの拝観者を迎えてまいりました。伝統的内観と最新の照明技術による情景深い拝観施設で、日本三大弁財天の中でも唯一常時拝観が可能です。これからも弁財天信仰を発信し続ける江島神社奉安殿です。

**64 茅ヶ崎市美術館**  
個性的で多彩な展示を実施

湘南の古き良き景観である松林の丘に建つ茅ヶ崎市美術館は1998年に開館。茅ヶ崎にゆかりのある作家や作品を中心に約2000点を所蔵し、個性的で多彩な展覧会を開催しています。開館25周年となる2023年度には、「渉るあいだに佇む展」「イギリズ風景画と国木田独歩展」に続き、「生誕120年 没後60年 小津安二郎の審美眼-OZU ART-」を開催。本展では、映画に関する資料や小道具などを通して、映画や私生活から垣間見られる小津の美意識に注目します。Photo: Ben Matsunaga

**65 茅ヶ崎市博物館**  
茅ヶ崎の“大地と人のものがたり”

茅ヶ崎市博物館のテーマは「大地と人のものがたり」です。茅ヶ崎の多様な地形を紹介するとともに、人々がその地で紡いできたくらしや物語を伝えていきます。また、「茅ヶ崎の自然やそこで営まれた人びと」のくらしを伝える資料などを、市民をはじめとする利用者や協力して活動する地により蓄積し、活用し、未来の人びとへ伝えていくことを使命とする「箱根温泉」、そして背中合わせにある「火山の脅威」について、パネルや映像のほか、体験型展示や岩石などの触れる実物展示で紹介しています。実験や工作イベントも時々開催。ミュージアムを見学した後は、目の前に広がる大迫力の大涌谷で、活火山の息吹を体感できます。

**66 平塚市博物館**  
市民とともに調べ、学び、楽しむ博物館

「相模川流域の自然と文化」をテーマに活動する地域博物館で、人文分野(考古・歴史・民俗)・自然分野(生物・地質・天文)を扱う総合博物館です。調査研究、資料収集・整理、教育普及などの博物館活動に、多くの市民が関わっていることが大きな特徴の一つです。年3回の特別展に加え、月替わりの企画展など様々な展示を行っています。体験学習などの教育普及行事も数多く開催しているほか、オリジナル番組を投影するプラネタリウムも人気です。

**67 大磯町郷土資料館**  
豊かな自然環境と歴史・文化を伝える

大磯丘陵の豊かな緑と相模湾の青い海に囲まれた大磯には、太古の昔から自然の恵みがもたらされた、さまざまな文化が育まれました。当館は「湘南の丘陵と海」をテーマに、大磯の自然や文化を伝えています。ちなみに、当館の外観は、かつてこの地にあった三井家の別荘・城山荘をモチーフにしています。また、復元された別館の旧吉田茂邸も必見です。なお、旧吉田茂邸については、郷土資料館本館と開館時間が異なりますので、詳細はホームページをご確認ください。

**68 三之宮郷土博物館**  
古代発祥の地・出土品から太古を学ぶ

三之宮郷土博物館周辺には360基を超える古墳があったといわれています。当館では、考古学の先駆者・坪井正五郎博士や大塚磐雄博士等が発掘調査に携り出土した、貴重な金銅製の馬具類や銅鏡、銅鏡等を保管展示してあります。特に、登尾山古墳や埴谷(らちめん)古墳、栗原古墳の出土品は必見の価値があります。神社裏に移築した下谷戸縄文遺跡や住居跡を見学し、小高い丘陵地を訪れ太古を偲ぶのもおおすすめです。

**69 寒川神社 方徳資料館**  
全国唯一の方位信仰資料館

高座郡寒川町山に鎮座する寒川神社は、全国唯一の方位信仰(八方除)の守護神として多くの崇敬を集めています。方徳資料館は本殿の真裏に位置する神庫山神苑にあり、寒川神社の歴史をはじめ、古来大陸から伝わった方位信仰の歴史を紹介しております。北条三代に亘る造営事業の様子を窺い知ることのできる棟札や武田信玄奉納の「六十二間筋兜鉢」等の貴重な資料をはじめ、館内には星宿図や麒麟十二支像、天球儀を展示。方位信仰の歴史を体感いただくことができます。

**70 箱根写真美術館**  
富士に出逢えるアトリエ美術館

箱根写真美術館は、三代に亘り写真を生業としてきた山田・遠藤家の居住敷地内に開館した私設の小美術館です。明治～昭和に風景写真家として活動した山田應永の作品や資料、古機械を収集保管し、箱根出身の写真家、遠藤桂が30年以上撮り続ける幻想的な富士山写真を常設展示しています。写真家のアトリエでもあり、作者による作品解説や写真教室なども開催しています。箱根の自然の中、隠れ家のような美術館でゆっくりと作品と対峙していただければ幸いです。

**71 箱根シオミュージアム**  
箱根の魅力を感じて凝縮!

火山の不思議や自然の魅力をつぶり味わえる、箱根火山の中央、大涌谷にあるミュージアムです。当館では、「大涌谷」をはじめ、「芦ノ湖」や「仙石原」などの各エリアと、火山の恵みである「箱根温泉」、そして背中合わせにある「火山の脅威」について、パネルや映像のほか、体験型展示や岩石などの触れる実物展示で紹介しています。実験や工作イベントも時々開催。ミュージアムを見学した後は、目の前に広がる大迫力の大涌谷で、活火山の息吹を体感できます。

**72 箱根町立箱根湿生花園**  
美しい花と出会う場所

箱根湿生花園は、湿原をはじめとして川や湖沼などの水湿地に生育している植物を中心とした植物園です。園内には、日本各地に点在している湿地帯の植物200種のほか、草原や林、高山植物1,100種が集められ、その他、珍しい外国の山野草も含め、約1,700種の植物が四季折々に花を咲かせます。園路は低地から高山へ低層湿原から高層湿原へと順に植物を見て回るようになっています。

**73 小田原市尊徳記念館・二宮尊徳生家**  
偉人、二宮尊徳の原点を学ぶ

小田原市尊徳記念館は、江戸時代後期に荒廃した各地の農村の復興に尽力した二宮尊徳(金次郎)を顕彰する施設です。尊徳の没後100年にあたる昭和30年(1955)に開館し、昭和63年(1988)に現在の建物に改築されました。展示室では、ジオラマやアニメーションでその生涯を紹介するとともに、功績を今に伝える数々の遺品を展示しています。また、館のなりは尊徳の生家跡にあたり、移築復元された生家や顕彰碑が建てられています。生家の茅葺屋根は令和4年度に葺き替えが行われました。

**74 小田原市郷土文化館**  
旧石器時代から現代までの小田原を紹介

豊かな自然環境に恵まれ、戦国時代から江戸時代を通じて城下町・宿場町として栄えた小田原で、1955年に開館しました。市内の遺跡から出土した資料をはじめ、小田原代北系氏・小田原藩時代の資料、明治・大正・昭和期の小田原を紹介する資料、農具などの生業や講など信仰に関する資料など、小田原の歴史や民俗、自然に関する資料を展示しています。また、市が所蔵するさまざまな資料をインターネット上で見られる「おだわらデジタルミュージアム」もオープン!あわせてご覧ください。

**75 報徳博物館**  
二宮金次郎(尊徳)について学ぼう

現在の小田原市栢山の農家に生まれた二宮金次郎尊徳(1787-1856)は、勉学と実践を積んで練り上げた独自の思想をもとに、北関東を主として約600か所の復興に尽力したほか、窮乏した個人の家の再生にも数多く携りました。尊徳は生前から多くの人々に慕われ、その教えは今日まで、さまざまな形で継承されています。報徳二宮神社に隣接する報徳博物館は1983年の開館以来、尊徳の業績・思想、彼を慕う人々の活動(報徳運動)に関する資料の収集や調査・研究・普及などにつとめています。

**76 神奈川県立生命の星・地球博物館**  
1万点の実物標本で地球を体感しよう

「生命の星・地球」をテーマに、地球の誕生から現在までの46億年にわたる歴史と生命の多様性を、わかりやすく展示しています。1階は「地球を考える」「生命を考える」、2階は「神奈川の自然を考える」「自然との共生を考える」、合わせて4つの総合展示室から成っています。巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本をお楽しみください。

**77 真鶴町立遠藤貝類博物館**  
貝を通して海を知ろう

真鶴町出身の貝類研究家、故遠藤藤雄氏が収集した4500種50000点に及ぶ貝類標本を中心に、海の生き物に関する展示を行っています。ずらりと並んだコレクションの中でも、特に圧巻なのが「生きた化石」と呼ばれるオキナエビス類で、現生する30種のうち27種を展示しています。施設は真鶴半島の先端、三ツ石海岸のすぐそばにあり、磯で生き物を楽しみながら学ぶ「海の学校」などの総合展示室から成っています。巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本をお楽しみください。

**78 真鶴町立中川一政美術館**  
緑あふれる自然に囲まれた美術館

真鶴町にアトリエを構え、戦後の日本洋画壇で中心的存在として活躍し、文化勲章受章者でもある中川一政画伯より作品の寄贈を受け、1989年に開館した美術館です。緑あふれる真鶴半島自然公園の中に位置する当美術館では、油彩、水墨画、書、陶芸、本の装丁といった画伯自身の作品と、画伯が生前に収集した東西の優れた美術コレクションを収蔵しており、館内では常時約80点～90点の作品を展示しています。

**79 町立湯河原美術館**  
湯河原が愛した画家 湯河原を愛した画家

古くから温泉保養地として知られる湯河原は、明治以降多くの文人墨客が訪れていました。当館は、竹内栖鳳や安井曾太郎等が逗留した老舗旅館を改装し、湯河原にゆかりの作品を保存、展示しています。「平松礼二館」では、現在活躍中の日本画家・平松礼二の作品を企画展で紹介するほか、館内に設けたアトリエを公開しています。また、自然に囲まれた庭園やミュージアムショップ、足湯のあるカフェを併設しています。芸術品とともに癒しのひとときをお過ごしください。

**80 箱根町立郷土資料館**  
歴史を知ると、箱根はもっと面白い

常設展示室は箱根の歴史をテーマに、江戸時代に7つの温泉場が「箱根七湯」と呼ばれ、湯治から物見遊山など利用形態が多様化した人気を高めた箱根温泉が、明治時代以降に道路開発などのインフラ整備とともに近代化、国際化、高級保養地化と急速に進み、17の温泉場を有する今日の日本を代表する温泉観光地になるまでの歴史を紹介します。このほか、特別展・企画展を開催する特別展示室や、歴史や民俗、郷土史関連図書を購入する図書室、ミニサイズのわらじ作りなどが楽しめる体験コーナーがあります。

**81 彫刻の森美術館**  
家族で楽しめる日本初の野外美術館

国内で初めて開館したオープンエア・ミュージアム。7万㎡の広大な敷地内には、ロダンやムーアなど、近代・現代を代表する国内外の巨匠の作品約120点を散策気分で見学することができます。その他には、陶芸、絵画、彫刻など多彩なコレクション約300点を順次公開するピカソ館、子供が楽しめる体験型作品、敷地内の源泉を活用した足湯、開放感あふれるカフェなどがあり、大人から子どもまで家族みんなで芸術鑑賞ができます。

**82 箱根美術館**  
国指定名勝の庭園と古陶磁器の美術館

箱根美術館は1952年開館、箱根で最も歴史ある美術館。展示作品は、縄文土器や埴輪、備前・信楽など鎌倉・室町時代の六古窯の壺・甕などの常設展示、桃山時代の茶道具、江戸時代の色絵磁器、中国陶磁器で、日本美術を中心に約100点を展示。また、新緑や紅葉が美しい苔とモミジの苔庭、巨岩と溪流の石楽園など、国の名勝に指定された、四季折々に美しい日本庭園を有します。苔庭の奥にはイス席の茶室があり、庭を眺めながら抹茶と季節の和菓子を楽しむことができます。(有料)

**83 箱根神社宝物殿**  
箱根神社の歴史を伝える宝物殿

箱根神社宝物殿は、神社由来の彫刻・絵画・古文書・刀剣・祭具等を収蔵展示する博物館施設です。主な収蔵品には、平安時代の男神坐像・女神坐像(重文)、万巻上人坐像(重文)をはじめ、鎌倉時代の箱根権現縁起(重文)や湯釜・浴堂釜(重文)、また、北条実朝、織田信長、豊臣秀吉等の戦国武将の書状など、箱根神社の歴史と文化を伝える貴重な史料が伝えられています。

**84 箱根町立森のふれあい館**

森のふれあい館は、動植物の展示をとおして、自然のすばらしさ、森林の大切さを、楽しみながら理解していただくための施設です。木の葉を使った楽しいワークショップが人気です。またクイズを解きながら園内を散策するクイズラリーや、ガイドと一緒に森を散策する楽習教室(GWや夏休みの土日など)も開催します。館の外にひろがる箱根やすらぎの森は、芦ノ湖の南岸にあり面積は44.4ha。森の小鳥の声を聞きながら森林浴ができ、いろいろな野生の動植物を観察することもできます。

**85 小田原城**  
天守閣・SAMURAI館・NINJA館

小田原市のシンボルでもある小田原城の館内では、小田原城や歴代城主について紹介しています。最上階に再現された摩利支天像安置空間や、相模湾や周辺一帯を一望できる展望回廊からの景色も必見です。常設大ホール SAMURAI 館では、甲冑などの優品を展示しています。歴史見聞館 NINJA 館では、風魔忍者をモチーフにした展示と体験が楽しめます。国指定史跡にも指定されている小田原城址公園では、他にも復元した城門や四季折々の花など見所がたくさんあります。

**86 小田原文化財団 江之浦測候所**  
相模湾を望む絶景地にあるアート施設

現代美術家・杉本博司が設計を手掛けた小田原文化財団 江之浦測候所は、2017年秋に開館しました。広大な敷地にギャラリー、茶室、石舞台、光学硝子舞台、化石室、甘藷山 春日社などが点在しており、この空間の中に杉本博司の写真をはじめとする作品や自ら収集した古美術品も展示されています。各施設は遊歩道によって結ばれ、相模湾を眼下に望みながら見学できます。また敷地内では蜜柑をはじめ各種の柑橘類が栽培されており季節ごとに移ろう農園の景色もお楽しみいただけます。

**87 箱根・芦ノ湖 成川美術館**  
箱根の象徴的な景観と共に日本画を鑑賞

元箱根の高台に建つ現代日本画専門の美術館です。戦後日本画の革新をめざして結成された創造美術(現・創画会)の創立会員となった山本丘人のコレクションを中心に、平山郁夫、堀文子、牧道、平松礼二など現代日本画の巨匠たちの作品を数多く所蔵、展示しています。近年では若手作家の展覧会も企画し、新しい日本画の魅力を発信しています。今里隆設計による美術館の展望ラウンジからは、芦ノ湖と箱根神社の鳥居、晴れた日には富士山の大パノラマが一望でき、庭園の散策も楽しむことができます。

\*記載してありず No.1は裏面の館情報 No.1と一致しています。

